

報告

「人が育み、仕事を育み、地域を育む大学実務家教員養成」

2023年2月23日 第3回共育創生フォーラム

親飼 宏成 TEEPコンソーシアム実施委員会委員長 (名古屋市立大学学長補佐・大学院経済学研究科教授)



報告の骨子



- 1. 経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』(令和4年5月)の狙いと主張
- 2. TEEP2019年度・2020年度実施『企業人事担当者調査』で分かった不足能力
- 3. TEEPが想定してきた実務家教員の「経験」と「コンピテンシー」
- 4. 実務家教員の<mark>経験を活かし、学生が不足能力を獲得する学習機会</mark> 「多職種連携PBL演習」の特徴
- 5. 『共同講座』~産官学による「共育の場」づくり~



1.経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』 (令和4年5月)の狙いと主張



(1) 未来人材会議の問題意識

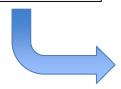


より少ない人口で社会を維持し、

外国人から「選ばれる国」になる意味でも、

社会システム全体の見直しが迫られている。

雇用・人材育成と教育システムは、別々に議論されがちであるが、 これらを一体的に議論することに、意義がある。



企業ができることは何か。

これからの時代に必要となる具体的な能力やスキルを示し、 今働いている方、これから働き手になる学生、教育機関等、 多くの方々に伝えることで、それぞれが変わっていくべき方向性 が明確になるのではないか。

出典:経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』(令和4年5月) スライド13&14より抜粋



(2) グローバル競争を戦う大企業の社長等が考える「求められる人材像」

これからの時代に必要となる能力やスキルは、

基礎能力や高度な専門知識だけではないことが分かった。



次の社会を形づくる若い世代に対しては、

「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」

「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」

「グローバルな社会課題を解決する意欲」

「多様性を受容し他者と協働する能力」

といった、根源的な意識・行動面に至る能力や姿勢が求められる。

出典:経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』(令和4年5月) スライド16&17より抜粋

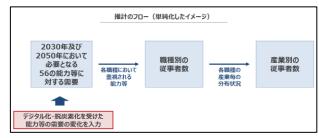


(3) 2030年、2050年における日本の労働需要の推計結果①

先行研究における「意識・行動面を含めた仕事に必要な能力等」は、

56項目から成る人の能力等の全体が整理されたものである。

意識、行動面	ビジネスカ	スキル	知識
意欲·積極性	情報収集	基盤スキル	科学·技術
自発性	状況変化の把握	学習スキル	化学·生物学
ねばり強さ	的確な予測	数理スキル	芸術·人文
向上心·探究心	的確な決定	言語スキル:文章	医療•保健
責任感・まじめさ	問題発見力	言語スキル:口頭	ビジネス・経営
信頼感・誠実さ	ビジネス創造	テクニカルスキル	外国語
人に好かれること	革新性	ヒューマンスキル	土木·建築
リーダーシップ	戦略性	コンピュータスキル	警備•保安
協調性	客観視	モノ等管理スキル	
柔軟性	説明力	資金管理スキル	
注意深さ・ミスがないこと	交渉力	段取りのスキル	
スピード	基礎的機能	その他	
社会常識・マナー	基本機能	仕事に関係する人脈	
身だしなみ・清潔感	知的機能	資金力	
体力・スタミナ	感覚機能	仕事に関係する免許・資格	
ストレス耐性	運動機能	現在の仕事に特有な知識や経験	
社会人、職業人としての自覚	注到/1/A/HC	元正の正字に行行な和戚で柱架	
現在の職業に特有の態度・行動	(出所) 独立行政法人労	働政策研究・研修機構「職務構造に関する	研究Ⅱ」を基に経済産業省が作成。



出典:経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』(令和4年5月) スライド19&20より抜粋



(3) 2030年、2050年における日本の労働需要の推計結果②

現在は「注意深さ・ミスがないこと」、「責任感・まじめさ」が重視されるが、将来は「問題発見力」、「的確な予測」、「革新性」が一層求められる。

56の能力等に対する需要

2015年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14
責任感・まじめさ	1.13
信頼感・誠実さ	1.12
基本機能 (読み、書き、計算、等)	1.11
スピード	1.10
柔軟性	1.10
社会常識・マナー	1.10
粘り強さ	1.09
基盤スキル※	1.09
意欲積極性	1.09
:	:

※基盤スキル	: 広く様々なことを、	正確に、	早くできるスキノ

2050年	
問題発見力	1.52
的確な予測	1.25
革新性*	1.19
的確な決定	1.12
情報収集	1.11
客観視	1.11
コンピュータスキル	1.09
言語スキル:口頭	1.08
科学•技術	1.07
柔軟性	1.07
:	:

※革新性:新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

今回の推計が示しているのは、

デジタル化・脱炭素化という大きな構造変化は、人の能力等のうち、 「問題発見力」、「的確な予測」、「革新性」をより強く求めるようになり、

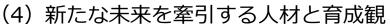
その結果、2050年には、

現在の産業を構成する職種のバランスが大きく変わるとともに、 産業分類別にみた労働需要も3割増から5割減という 大きなインパクトで変化する可能性があるということである。

出典:経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』(令和4年5月) スライド21&27より抜粋

⁽注) 各職種で求められるスキル・能力の需要度を表す係数は、56項目の平均が1.0、標準偏差が0.1になるように調整している。

⁽出所) 2015年は労働政策研究・研修機構「職務構造に関する研究 II」、2050年は同研究に加えて、World Economic Forum "The future of jobs report 2020", Hasan Bakhshi et al., "The future of skills: Employment in 2030"等を基に、経済産業省が能力等の需要の伸びを推計。





学び手は、「知識」の習得と、「探究力」の鍛錬、という2つのレイヤーの間を らせん状に循環しながら、自らの能力・スキルを高めることができる。 目指すべき姿 現在の姿 〇〇 専門学校卒 準学士・ 専門士等 ○○高卒 博士 新卒一括採用 博士研究 修十研究 通年採用/一括採用 専門課程 専門課程 短高専 ... 大専門 知識の習得 探究力の鍛錬 教養課程 教養課程 入試 知識の習得 国·算·社·理·英·情 機械·電気·土木 探究学習 機械・電気・土木・・・・

企業は教育に主体的に参画し、

新たな未来を牽引する人材が求められる。

現場と二人三脚で「あるべき姿」へと変革していくべきではないか。

それは、好きなことにのめり込んで豊かな発想や専門性を身に付け、 多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、

そうした人材は、「育てられる」のではなく、

ある一定の環境の中で「自ら育つ」という視点が重要となる。

社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人材である。

出典:経済産業省・未来人材会議『未来人材ビジョン』(令和4年5月) スライド72、85&93より抜粋



2.TEEP2019年度・2020年度実施『企業人事担当者調査』 で分かった不足能力

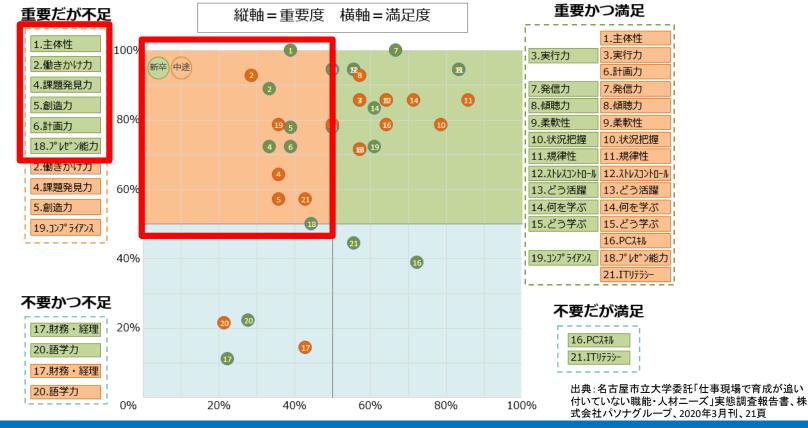
実務家 教員は 学生の 能力開発 に資する

実務家の 経験を活 かした 疑似体験





「社会人基礎力」項目等で見た入社形態比較 新卒・中途×重要・満足



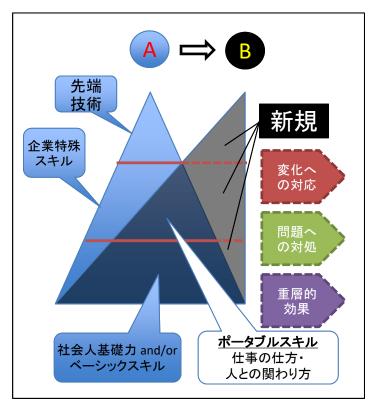


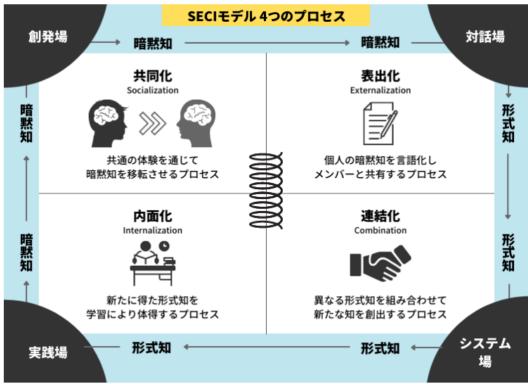
3.TEEPが想定してきた実務家教員の 「経験」と「能力」



NC U

「経験」を重ねる、発展させるとは?





右図出典:「SECIモデルとは?企業におけるナレッジマネジメントへの活用と具体例」より引用、https://www.brainstech.co.jp/neuron/blog/seci_model/ (2022年11月7日閲覧)



4.実務家教員の経験を活かし、学生が不足能力を獲得する 学習機会「多職種連携PBL演習」の特徴



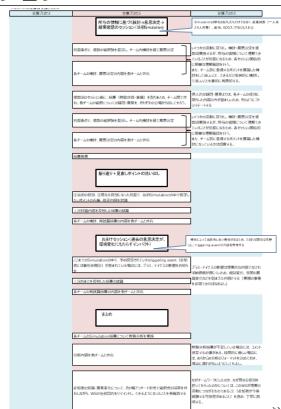
「やっかいな問題」を題材に探究の場をプロセス・デザインし、 ファシリテーション



環境分析	
事業環境	プロジェクトのビジョン&参加者への社会からの期待(時にはディブロマボリシー
	下述の知識、クリハクキロレ人材の育成が開発されている。 ・企業は他・利林の関係について、活用可能や情報を認識し、人手することができ ・人手した情報に基づいて、接着の機点で検討ができ、結論を得くことができる ・ソフトを提供をは小て、封積面以外への影響についても考慮し、メリット/デメリトの観音が説明できる 主核主・企業機関・従業員・サブライテェーン・研客などの反応を考慮した、知恵を 向にころわれない、より合理的な思想決定のノクリウを有した人材

参加者分析	(即時代報) ・金楽活動に力速等・回路的な影響を受ける ・金楽活動に力速等・回路的な影響を受ける ・お高端体格の個心等・理解する ・必思いまで、より発する必見を、感覚ではなく ・必思いまで、よりないられる発展などが、 ・表記いまで、よりないで、はないで、はないで、はないで、はないで、はないで、はないで、はないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、	[コンセナト] ・基本的な企品活動を取り込ん的与的なし、概要の理解を可能とする。 ・報志的な企品を開発を取りる前提条件を盛り込み、 建済事務に対する間へを認める。 ・技済事務に対する間へを認める。 ・技済事務に対する間へが、 ・技術事務を取りする配面がない場合のマイナスの結果を 接続するセッシュを選びて、 ・のよりないことに無難なりなけるの様々 化がベストな選択能にはなりないことに無常なりにより ・最新メンバーでカー・ムワーク様型で、前の意見を出すこと。 ・他者の意見に対するコメントを出すことの専用性を感じ させる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	→検討の切り口として使いうる分析手法を理解してほ	企画者分析
-------	---	---	--------------------------	-------

- 実体線にはブルて思考・特部・辺崎できる参加者が大中であり、現実等・砂加を温水を持むされたので、まが必要 ・衝撃的な思想決定ではなく、自ら考え、行動することにならなければ上記のコンセプトは連点されないため、丁寧な説明・確定が必要 ・特定の動物者の意見は可少者のもおいスケがあるため、WSの途中で発動の変化など参加数の全体的な場合上に向けてエスチ必要 ・場合の立即のが表。見た現金とい場面で、十分な意見などを行ってある。



注:図表はイメージ画像です



多職種連携PBL演習『共同講座』の例 「未来人材育成のために〜産官学による「共育の場」づくり〜」



計画:名古屋市立大学経済学部 × 株式会社コミュニティネットワークセンター × 岐阜県白川町

講座設置目的:地域密着の課題設定、プランニング、解決策実行までを担 う若手人材の能力開発 Z世代の視点から、地域毎で異なる問題を分析 し、新しい技術・知識を応用したソルーションを提案できる人材の育成 講座設置目的:リアリティある PBL でアントレプレナーシップを醸成 現実課題×複数の最新技術・ノウハウの活用×ソルーションのプロトタイ プ×プロジェクト推進=企業と大学による挑戦のエコシステムを構築。



CNCi&白川町



人材&課題の持ち寄り

実務家教員招聘&実習の場を提供

共同講座の設置



名市大経済学部



講義開発(新規事業・多職種連携 PBL)



共同講座テーマ

【講座分野】

アントレプレナーシップ、イノベーションマネジメント

ソーシャル・アントレプレナー &イントレプレナー育成講座 【主なカリキュラム】

「特別講義」(テーマ例:地域課題克服の共創経営)・・前期(講義+混成チームでの PBL)

「特別セミナー(多職種連携 PBL)」(テーマ例: 新規事業)・・前期(混成チームでサービスラーニング)

【講座の特色】

CNCi&白川町のスタッフと学生がチームを組成し、実際の経営及び地域課題を基に解決アイデアを事業計画へとブラッシュアップ。産官学そして学生と社会人の垣根を越えて補完し合って実践し提案。

CNCi&白川町



育成したい人物像:

- ・地域課題を解決するソーシャル・イントレプレナー
- ・地域へ新技術・知識を活用したソリューションを提案できる人材

活躍の場:

-サービス提供エリアにおける 企画提案型の事業展開 育成したい人物像:

事業構想と PM に秀でた起業 家、企業内起業家

活躍の場:

- 講座期間中における事業計画・プロトタイプ作成への貢献 - 企業・行政・NPO 新事業担当 名市大経済学部等の学生



uate School of